

5歳になる娘が、2018年の7月から通っています。

家庭だけでは、基本的な生活習慣などが、なかなか身につかなかったのですが、センターでの毎日の生活の中でだんだんと身についてきました。声を掛けなくても、自分で気を付けられることも増えてきています。

娘は筋力が付きにくく、体を使う遊びよりも絵本を見たり粘土エロリなどの遊びが好きです。センターでは、先生やお友達がいることで、同じように運動や体を動かす姿勢もあるようです。家ではしようとしていなくても、先生や友達と一緒に楽しんでいる様子。その中で、少しずつ筋力がついていき、そして誰かと一緒に遊ぶことを楽しむという、人との関わりがもてるようになってきました。

また、私自身、娘の出来ていないことに目を向けることで、落ち込んだりイライラしたりすることがあります。先生から「元気でいるからそれでいい」という言葉をもらい、出来た場所には目を向けるばかりではなく、元気でいる姿を見て、褒めて、自信に繋げてあげたいといけなさと、平常心に戻ることができました。

親も話を聞いてもらう中で、子どもとの接し方を知れるのは、子どもの成長、発達にとっても大切なことだと感じました。